

2004年度の事業報告

〔期間：2004年3月27日～2005年3月31日〕

1. 2004年度事業推進における基本課題と各部方針

2004年度は、コリア NGO センターの「中期的展望」（第1回理事会確認）を踏まえた、発足1年目にあたり、全体の事業計画の基本課題を次のように設定した。

- () コリア NGO センター（以下「センター」）の情報の発信機能を高め、社会的認知の周知に努める。
- () 確実な事業課題を行い、次年度の事業展開に向けた条件・担保を構築する。
- () 各組織機関の円滑な運営と財政基盤の拡充など十全な組織運営を行い、組織の安定化を図る。

こうした基本課題のもとで【総務部門】の各部方針を以下のように設定した。

〔組織部〕

- () 組織活動を通じて、各組織機関の役割の明確化と円滑な運営体制を構築する。
マネジメント機能の強化：理事会、運営委員会、事務局会議、各部会議の相互補完的な運営
ボランティアスタッフ制度の確立準備：多様な人材の活用と参加
- () 会員・賛助会員を拡大し、組織・財政基盤の安定化を図る。
- () 「公開」「現場主義」「人間尊重」「革新」という4つの行動規範を尊重した組織文化を定着させる。
組織としての保障体制の確立

〔情報・広報部〕

- () 対外的な情報発信・広報力を高める。
- () 会員に対する情報提供・コミュニケーションツールを整備する。
- () 情報・広報部の専門力強化のための体制を整備する。

〔財政部〕

- () 会員制度の整備と会員・支援者を拡大する。
- () 事業収入を確保・拡大する。
- () 事業費および管理費の支出基準について整備する。
- () 財務管理体制を整備する。

〔物品販売部〕

- () 今年度の売上目標を 1,900 万円とする。
- () 宣伝活動を徹底する。
- () 新しい教材開発および新商品を発掘する。
- () 市場を拡大する。
- () サービスの向上を図る。

2 . 総括報告

「センター」の発足と社会的認知の増大

「日本の学校での民族教育の発展に向けたビジョンと戦略」に向けた議論の活性化

人権啓発事業の拡大

2005 年度の事業展開に向けた条件・担保の構築

組織運営のマネジメント機能の強化と組織基盤の拡大の必要性

財政基盤の拡大の必要性

3 . 「センター」の運営に関する事項

(1) NPO 法人設立総会 & 記者会見

【日程】2004 年 3 月 27 日 (土)

【時間】10:00 ~ 12:00

【会場】さんくすホール 1F

【内容】・開会あいさつ

- ・議長選任
- ・設立承認及び設立認証申請の件
- ・活動目的等確認の件
- ・設立当初の財産目録
- ・設立の初年度および翌年度事業計画書承認の件
- ・設立の初年度および翌年度の収支予算書承認の件
- ・設立代表者選任の件
- ・議事録署名人選任の件

(2) 設立記念シンポジウム

【日程】2004年5月9日(日)

【時間】13:30～17:00

【会場】大阪市立東成区民ホール

【参加】約500人

【内容】・民族学級の子どもたちによる文化公演(大阪市立長橋小学校/守口市立第二中学校)

・主催者あいさつ(朴正恵・代表理事)

・来賓あいさつ(李光奎・在外同胞財団理事長)

・来賓あいさつ(44団体・個人)

・コリアNGOセンターの紹介(宋悟・代表理事)

・シンポジウム「教育・人権・統一～境界から共生へ～」

<パネリスト> 梁石日(作家)

李鍾元(立教大学教授)

丹羽雅雄(弁護士)

朴正恵(コリアNGOセンター代表理事)

<コーディネーター> 鄭甲寿(コリアNGOセンター代表理事)

・白頭学院建国小学校の子どもたちによる文化公演

・朴保さんによるライブ演奏

(3) 理事会の開催

第2回

【日時】2004年10月9日(土) 午後2時～5時

【場所】さんくすホール1F

【議題】1. 2004年度前期の活動総括および後期の課題・方向について審議

2. その他

(1) コリアNGOセンター多目的室に関する今後の方針について

(2) 東北アジアコリアンネットワーク国際会議(10.23)について

(3) 「コリアウィーク事業」(10.23～31)について

4. 「センター」の活動に関する事項

教育部 活動総括

(1) 活動報告

- 4月20日(火) 世界人権宣言大阪連絡会総会に参加
- 4月21日(水) 韓国・釜山大学関係者、教育問題で来所
- 4月23日(金) 大阪市立生野南小学校民族学級開講式に参加
- 4月25日(日) 4・24 阪神教育闘争記念集会への協力・参加
- 4月28日(水) 民族教育に関する済州島 CBS 取材
- 4月30日(金) 大阪市立北巽小学校民族学級開講式に参加
- 5月6日(木) 池田市立呉服小学校母国語教室開講式に参加
- 5月21日(金) 大阪市教職員組合定期大会に参加
- 5月23日(日) オリニウンドンフェ(子ども運動会)に来賓参加
- 5月30日(日) アンニョン、オリニ文化マダン主催
- 6月9日(水) 東淀川解放教育共闘会議総会に参加
- 6月26日(土) 守口市教職員組合定期大会に参加
- 6月28日(月) 守口市立南小学校民族学級開講式に参加
- 7月3日(土) 大阪教組教研全体会に参加
- 8月1日(日) 「ダブルの子どもたちの教育を考えるつどい」呼びかけ・参加
- 8月18日(水)
- ~19日(木) 在日韓国人教育者大会(主催:在日本韓国人教育者協会)に参加
- 8月28日(土)
- ~29日(日) 民族学級合同サマーキャンプに協力
- 10月30日(土) 大阪市立住吉小学校民族学級10周年記念会に参加
- 11月4日(木) 民族教育合同研修会実行委員会に参加
- 11月18日(木) 大阪市教育改革フォーラム(主催:大阪市教職員組合)に参加
- 11月20日(土) 在日本朝鮮人教職員同盟大阪府本部との意見交換
- 11月20日(日) 民族教育ネットワーク総会に参加
- 12月18日(土) 民族教育合同研修会(主催:韓国総領事館教育官室)に参加
- 1月11日(火) 大阪教組新春のつどいに参加
- 1月20日(木) 守口市教組新春のつどいに参加
- 1月21日(金) 大阪市教組、豊中市教組新春のつどいに参加
- 2月3日(木) 対大阪市教委交渉
- 2月17日(木) 対大阪府教委交渉
- 2月23日(水) 大阪府教委の協力の下、韓国 NGO からを通じた教材寄贈式(大阪府外教へ)
- 3月2日(水) 大阪市立北巽小学校民族学級修了式に参加
- 3月4日(金) 大阪市立北中道小学校民族学級修了式に参加

- 3月8日(火) 守口市立第二中学校民族学級修了式に参加
3月10日(木) 池田市立呉服小学校母国語教室修了式に参加
3月30日(水) 泉大津市立戎小学校に民族講師の交代に関わる協力

(2) 総括報告

ほぼすべての在日団体が、民族教育の重要性を認識する中、大阪における公立学校の民族教育の推進に実質的に責任を負っているコリア NGO センターの役割は、ますます増大しているといえる。大阪の公立学校における民族教育推進にあたって、民族講師が現場の実践にあたり、運動的側面において事務局が統括的役割を担ってきた。当センターの民族教育権確立事業は現場把握力と専門性が生命線であり、今後その分野における一層の習熟と研究活動に努めなければならない。

2005年2月3日(木)に対大阪市教委交渉、2月17日(木)に対大阪府教委交渉を実施し、各行政課題については是正・改善を求めるとともに、提言を行った。対大阪市教委交渉には、約150人が、対大阪府教委交渉には約100人が参加した。

守口市立第二中学校の常勤民族講師との連携を深め、守口市立南小学校に民族学級新規開設(6月)を実現した。この新規開設によって、守口市内の小中学校6校と1地域に民族学級が取り組まれている。

堺市立少林寺小学校に措置されている常勤民族講師との連携を深め、堺市内の民族学級新規開設の準備が進み、2005年度内に複数校において新規開設が実現することになった。

文部科学省交渉にむけ、奈良、神戸、東京、名古屋などの民族教育関係団体との懇談会開催が実施検討までいかず先送りになった。一方で、外国人の人権法制を求める NGO との交流が進み、政府への直接的な働きかけの回路は広がる可能性がある。

パンフレット「民族教育のすすめ」(仮称)の作製について、教育部内部に担当部署を設け実施する予定であったが、教育プロジェクトチーム(PT)の議論を優先したために検討が開始できなかった。

対府要望書において朝鮮学校の卒業資格問題と府の助成金増額を求めるとともに、対市要望書においては民族学校への就学助成金と大阪市内施設利用に関する市立学校並みの便宜の要望を行った。

各種集会・大会に民族講師らが積極的に参加したほか、「民族教育フォーラム」と「日教組教研」に担当者らが出席し、報告および発言を行った。

「民族教育(国際理解学習)コーディネーター(仮称)」養成講座の検討に先立って、制度保障の現状や

民族教育の客観的状況などの討議を深め、民族講師の役割再定立や在日コリアンの子どもたちのアイデンティティ保障のあり方、学校改革の行方と民族教育の制度保障などを議論する教育 PT を発足し、議論を継続した。

韓国総領事館教育官室が支援し、民団大阪府本部文教部が実務面を担う研修会へ関与するとともに、朝鮮総連系の在日朝鮮人教職員同盟大阪府本部との懇親交流会を開催し、民族教育分野における南北両方の関係機関との交流を深めた。

(社)東北アジア平和連帯、(財)在外同胞教育振興財団との民族学級理解促進に向けた意見交換を開催し、韓国の民間団体における「民族学級」問題への関心を喚起した。そうした関心喚起が契機となり、(社)東北アジア平和連帯を窓口にし、韓国・在外同胞財団の支援をもとに、民族教育教材 500 セットを当センターが委託を受け、大阪各地の民族学級と、朝鮮学校、白頭学院、金剛学園に寄贈した。

「大阪府人権教育のための新計画」「堺市人権教育推進計画」「大阪市人権教育啓発推進計画」策定にかかわって、民族教育の推進に関わる意見提示を行った。

共生社会推進部 活動総括

(1) 活動報告

在日外国人の人権保障と多民族・多文化共生社会の推進事業

在日外国人の人権保障に向けた法令の制定

〔2004年〕

- 5月29日(土) 全国移住労働者フォーラム(広島)への参加
~30日(日)
- 6月15日(火) 日本弁護士連合会(日弁連)の民族教育現場の視察団との懇談
- 6月16日(水) " 民族教育現場に同行
白頭学院建国小・中学校 西大阪朝鮮初級学校 大阪市立長橋小学校
- 7月3日(土) 第47回日弁連人権擁護大会第1分科会プレシンポジウム(東京)に参加
- 9月28日(火) 「多民族・多文化の共生する社会をめざして~外国人の人権基本法の制定を求め
大阪集会」開催(主催:コリア NGO センター呼びかけによる実行委員会)
- 【主催】同実行委員会(コリア NGO センター、自治労大阪府本部、大阪府教
職員組合、部落解放大阪府連合会、部落解放大阪府民共闘会議、平和

人権センター、多民族共生人権教育センター)

【参加者】150名

【会場】ヴィアーレ大阪

10月7日(木) 第47回日弁連人権擁護大会(宮崎)への参加

10月8日(金) 「宮崎NGO交流会&意見交換会」への参加

地域コミュニティの活性化とコミュニティビジネス(CB)化

(1) コリアタウン

[2004年]

- 4月14日(水) 韓国・江原道観光使節団との懇談会に参加
- 5月13日(水) 大阪観光コンベンション協会の韓国旅行社への大阪誘致事業に対する協力
- 8月29日(土) 班家食工房「伝統館」のオープニング参加
- 8月30日(金) 御幸森中央商店会の役員会に参加
- 10月23日(土) 「 코리아ウィーク事業」の開催
- ~31日(日) (主催: コリアNGOセンター/ コリアタウン推進委員会)

[実施概要]

- 10月23日(土) 東北アジアコリアンネットワーク国際会議 参加者: 70名
- 10月24日(日) 第20回ワンコリアフェスティバル 参加者: 約2万名
- 10月25日(月) 映画「夜を賭けて」& 朴保ライブ 参加者: 41名
- 10月26日(火) 韓国ドラマ「冬のソナタ」を味わう 参加者: 16名
〔講師〕羅順子(韓国料理専門家)
- 10月27日(水) 韓国ドラマ「長今の誓い」を味わう 参加者: 19名
〔講師〕羅順子(韓国料理専門家)
- 10月28日(木) 映画「潤(ユン)の街」& 脚本家・金秀吉によるトーク 参加者: 31名
- 10月29日(金) 映画「月はどっちに出ている」
& 梁石日・黒田征太郎の公開対談 参加者: 65名
- 10月30日(土) 古代史のなかの生野コリアタウン 参加者: 29名
〔講師〕朴鐘鳴(関西学院大学教員)
〔コメンテーター〕足代健二郎
- 10月31日(日) マイマイフェスティバル 参加者: 3,000名

11月29日(月) 大阪観光コンベンション協会主催の修学旅行受入れ商店街の意見交換会

{2005年}

2月9日(水) サッカーワールドカップアジア最終予選観戦会
【主催】コリアタウン推進委員会 / 【協力】(特活)コリアNGOセンター
【協賛】班家食工房
【参加】約100名

(2) 上町台地からまちを考える会

{2004年}

4月12日(水) 上町台地からまちを考える会 第14回理事会に参加
4月28日(水) " (2005年度)第2回理事会に参加
5月13日(水) " 第3回理事会に参加
6月23日(水) " 第4回理事会に参加
7月6日(火) " 第5回理事会に参加
8月3日(火) " 事務所開設の祝賀会に参加
8月29日(日) " 第6回理事会に参加
10月1日(金) " 第7回理事会に参加
11月6日(土) " 寺町・いにしえ編「極楽ものしり学入門」参加
11月13日(土) " 「学校プロジェクト」会議に参加
11月18日(木) 第4回上町台地「100人のチカラ」プロジェクトに参加
11月23日(火) 極楽ストーリー寺町・街暮らし編「極楽の街 寺町を語ろう」シンポジウム
〔パネリスト〕 宋悟(コリアNGOセンター代表理事)
秋田光彦(大蓮寺住職・應典院主幹)
渥美公秀(大阪大学助教授)
12月2日(木) 第5回上町台地「100人のチカラ」プロジェクトに参加
12月16日(木) 第6回上町台地「100人のチカラ」プロジェクトに参加

{2005年}

1月20日(木) 第7回「上町台地100人のチカラ!」プロジェクトに参加
1月25日(火) 関西経済同友会「都心居住推進委員会 上町台地エリア分科会」と上町台地からまちを考える会との懇談会に参加

(3) コリアタウン人権研修プログラム

別途参照

啓発事業

(1) 講師派遣の拡充

別途参照

(2) 民族教育ネットワーク主催の各事業への協力と参加

- 4月25日(日) 4.24 阪神教育闘争56周年記念集會に参加・協力
【参加】158名
- 7月24日(土) 民族教育ネットワーク「ニューカマー」外国人との懇談會に参加
- 8月21日(土) 「民族教育フォーラム2004」(第1日目)に参加・協力
基調報告：稲富進(民族教育ネットワーク共同代表)
6分科會
- 8月22日(日) 「民族教育フォーラム2004」(第2日目)に参加・協力
パネリスト
・武者小路公秀(大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター長)
・金東勲(龍谷大学名誉教授)
・サニーフランシス(FM COCOLO パーソナリティ)
・寺脇研(文化庁文化部長)
・法蔵美智子(大阪市教職員組合副委員長)
コーディネーター
・金永子(四国学院大学教授)
- 【主催】民族教育ネットワーク
【参加】延べ700名

(3) 「コリア伝統芸能体験活動」の実施

- 5月30日(日) 「アンニョン文化マダン」～朝鮮舞踊 ユガンスン～の開催
【内容】姜輝鮮朝鮮舞踊研究所/naruseによる文化講演&ワークショップ
【主催】コリアNGOセンター
【参加】約500名

在日コリアン社会の豊かな社会基盤の創造事業

「ニューカマー」韓国人との連携・協力

(1) 李悠紀さん家族の生活と裁判を支援する活動

2月16日(水) 「李悠紀さん家族の生活を守り、在留特別許可を求める緊急集会」
 【場所】大阪市立中央青年センター
 【参加】約200名
 ・支援団体アピールとして、金光敏・事務局長からあいさつ

4月13日(水) 母親の高銀烈さん、韓国へ出国。

4月18日(月) 李悠紀さん、李悠太さんに法務省から在留特別許可が下りる。

ハングル教室の開講と運営

【開講日】

5月24日(月) ハングル中級教室(毎週月曜日)
 5月25日(火) " 初級教室(毎週火曜日)
 5月27日(木) " 上級教室(毎週木曜日)
 9月3日(金) " 入門教室(毎週水曜日+金曜日)
 9月4日(土) " キッズ教室(毎週土曜日)

[2005年]

3月26日(土) ハングル教室の2004年度懇親会
 【参加者】28名

【受講生の数】

	入門(週2回)	初級	中級	上級	キッズ	合計
5月		4	7	5		16
6月		5	7	5		17
7月		4	7	5		16
8月						0
9月	9	5	7	4	5	30
10月	9	5	7	5	6	32
11月	8	4	7	5	6	30
12月	8	5	7	5	6	31
1月	8	5	7	5	5	30
2月	8	6	7	5	5	31
3月		6	7	5		18
延べ数						251

各会各層の在日コリアン（団体）との連携・協力

その他

〔2004年〕

5月14日（金）	マイマイフェスティバル実行委員会に参加
7月7日（水）	マイマイフェスティバル実行委員会に参加
7月19日（月）	”
8月20日（金）	”
9月15日（水）	”
10月21日（木）	”
11月11日（木）	「草津市、堀義明副議長と木村辰巳人権政策特別委員長を囲む会」に参加
11月30日（日）	西大阪日朝共闘の総会に参加
12月12日（日）	日韓東大阪市民の会の総会に参加
12月14日（火）	ヨンデネットの総会に参加

〔2005年〕

2月11日（金）	ミュージカル「豆もやしの歌」公演への協力
～13日（日）	

（2）総括報告

日弁連第47回人権擁護大会での外国人権保障法の制定に向けた動きを受けて、6月の日弁連代表による民族学級の公式視察の実現、9.28大阪集会の開催など、その必要性について世論喚起を行った。

1) 受益者総数160団体、8,000人を越える生野コリアタウン人権研修プログラムの受入れ、2) 受益者総数74回、9,000人を越える講演活動、を通じて近代日本と朝鮮半島との歴史的経緯や多民族・多文化共生社会実現の重要性について精力的に人権啓発を行った。今後、コリアタウン人権研修プログラムにおける実施体制の負担軽減、実施後のフォロー体制の創意工夫およびプログラム内容の明確化・平準化の整備が求められる。

生野コリアタウン人権研修プログラム、コリアウィーク事業、韓国食材の販売などを通じて、コリアタウン内の各団体等との協働関係が深まり、地域コミュニティの一層の活性化にむけた担保をつくった。

「李悠紀さん家族の生活と裁判を支援する会」への積極的な参加を通じて、李悠紀さん、李悠太さんの在留特別許可の交付に向けた世論化と運動の活性化に向けて貢献した。

ハンゲル教室の拡充に向けた工夫（入門クラスの週2回開催、キッズ教室の開講など）が受講生の増大につながった。

「セミナー」の開催およびコアに関連する講師・講演プログラムの開発（パッケージ化）に関する方針論議や準備ができなかった。今後、在日コリアン社会のデータベース化などの円滑な事業展開を図る上で重要な実務作業ができなかった。

国際協力・交流部の活動総括

（１）活動報告

東北アジアコリアンネットワークの活性化と統一に向けた交流事業

- 8月22日（日） 第1回東北アジア青年知識人フォーラム（中国）に参加
～25日（水）
- 8月27日（金） 2004 延辺東北アジア緑色経済文化発展シンポジウム（中国）に参加
～28日（土）
- 10月22日（金） 東北アジアコリアンネットワーク国際会議
～23日（土） 【主催】コリアNGOセンター、(社)東北アジア平和連帯、韓国・全南大学韓商研究団
【参加】約70名
【会場】班家食工房（22日）/ KCC会館（23日）
- 10月24日（日） 第20回ワンコリアフェスティバル
【主催】同実行委員会、
【参加】約2万名
【会場】大阪城公園
- 2月25日（金） 「6・15 共同宣言実践のための南北・海外共同行事準備委員会」参加のため
上京するも、突然一日延期となり不参加
- 3月21日（月） 東北アジアコリアンネットワーク国際会議準備会議（中国延辺）に参加
～25日（金）

各種シンポやセミナーなどを通じた在日同胞政策などについての問題提起

- 5月14日(金) 韓国議政府・ワンコリアフェスティバルに参加
~16日(土) 関連行事「統一文化セミナー」パネリスト(韓国議政府)として参加
- 5月23日(日) 韓国平和問題研究所主催の統一問題セミナー(韓国済州島)として参加
~26日(月) 「北韓の変化と在外同胞社会の役割」に発言者として参加
- 7月23日(金) 韓国人権大使 朴キョンソ氏講演会に参加
- 7月24日(土) 韓国人権大使 朴キョンソ氏と在日コリアン団体との懇談会
- 11月10日(水) 第1回在外同胞NGO活動家大会に参加(韓国)
~13日(土)

韓国スタディツアーや東アジア共同ワークショップなど韓日市民・NGO交流

- 8月8日(日) 東アジア共同ワークショップへ参加・協力(当センターから4名参加)
~11日(水)
- 8月11日(水) 2004韓国スタディツアー
~16日(月)

【主催】コリアNGOセンター

【参加者】12名

- 3月10日(木) 戦後60周年記念シンポジウム準備会議に客員研究員として参加

日本の各種団体と韓国NGOとの交流・協力事業におけるコーディネート

- 7月9日(金) 韓国民主労総・前主席副委員長 ユ・ドクサン氏事務所訪問
- 7月24日(土) 北朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン結成5周年集會に参加
- 9月18日(土) 民主労総全北地域本部訪日団の通訳・コーディネーターとして参加
- 10月3日(日) 韓国法輪和尚招請講演会

【主催】同実行委員会(コリアNGOセンターを含む)

【会場】一心寺三千佛堂

【参加】約60人

- 1月19日(水) 韓国インターネット新聞「オーマイニュース」社長の呉永鎬氏講演会および交流会に参加

- 1月25日(火) 日韓友情年2005開幕式及びレセプションに招待参加

(2) 総括報告

韓国スタディツアーや東北アジアコリアンネットワーク国際会議などの主催行事および当センターと連携しているワンコリアフェスティバルを通じて韓日市民の相互理解や日中韓など東北アジア地域のコリアン同士の相互理解と信頼関係を深めてきた。

当面、信頼関係を深め、さらに人的関係を広げることが主たる活動となるが、中期的には具体的な共同事業の設定や恒常的運営の体制などこの分野における戦略を定立していくことが求められる。国際交流・協力部の2004年度の活動は、大別すると以下の4点に整理できる。

東北アジアコリアンネットワークの活性化と統一に向けた交流事業

各種シンポやセミナーなどを通じた在日同胞政策などについての問題提起

韓国スタディツアーや東アジア共同ワークショップなど韓日市民・NGO交流

日本の各種団体と韓国NGOとの交流・協力事業におけるコーディネート

その他各界人士との懇談を通じた意見交換を活発におこなった。

東北アジアコリアンネットワークの活性化に向けた事業としては、記念シンポジウムでの李光奎・在外同胞財団理事長の来賓参加や第1回東北アジア青年知識人フォーラム、延辺東北アジア緑色経済文化発展フォーラム、東北アジアコリアンネットワーク国際会議開催、ワンコリアフェスティバルへの訪問団参加などの交流事業を行った。これらのネットワークを通じて、韓国政府・NGOからの民族教育事業への支援など、具体的な協力関係へと発展している。

昨年度の事業を通じて、東アジア共同体実現という理念のもとでの、東北アジアコリアンネットワークの意義について一定広範化し、またセンターとしての認識の蓄積を果たすことができた。しかし、東北アジアコリアンネットワークの事業目標や戦略を十分に整理していくことが、2005年度以降の重要な課題となっている。

今年度韓国政府の在日同胞政策に対する積極的な発言をおこなうことのできる機会を持つことができた。とくに民族教育問題に加えて、移住労働者問題をはじめとする多民族・多文化共生社会に向けた課題についても発信することができた。

韓日市民交流プログラムとしての韓国スタディツアーも成功裏に終え、また東アジア共同ワークショップの成功に向けても当センターが重要な役割を發揮した。

韓日NGO交流の分野では、日韓協力事業のコーディネーターとしての積極参加、法輪和尚招請講演会を他のNGOと協力して実現するなど、北朝鮮人道支援や平和問題をテーマにしたプログラムもおこない、外国人労働者問題についても、全国移住労働者フォーラムでの外国人労働者対策協議会（外労協）との交流を進めてきた。

2005年度はこうした成果を土台にしながら、各事業に対する位置づけと方針の明確化（国際交流・

協力事業の戦略を明確化するための論議の保障)、 対内認識の共有のための努力、 現在のカウンターパートナーとの関係強化と同時に、 ネットワーク拡大に向けた強化、 海外に向けた情報発信力の強化 (ハングルリーフレット、 ハングルホームページなど) が課題としてあげられる。